

## ○トリアルFD3Sのメカニズム

13B-REWのエンジンはマフラー、HKSパワーフローが装着されただけだ。CPチューンはこれからという。



もちろん、室内はノーマルで、ただ自動車電装チューンというのがストリート仕様らしい。



ただし、シートはストリートも考慮してレカロ・ホーネットのリクライニング式に替えてあるが、サーキットでは軽量のフルバケットのほうが良いと思う。

このサスキットがトリアル・オリジナルだが、あまりスプリングレートは高くなく、乗りやすい上にサーキットでの限界コントロールがいい。



事実、走りはいいのだが、オシはあまりサーキット走行の経験がないためか、コーナーで頑張りすぎて、スピンの連続だ。しかし、パワーを生かした走りが決まった時は気持ちいい快感だ。  
(必死に苦勞するオシを横目にマッキーはスイスイ走る。相当練習したな。オシがなかなか1周できず、やっと1分58秒なのにマッキーは54秒だぜ)

もいい。だからコーナーリング限界は高く、リヤの滑りもコントロールしやすさがある。ポイントはやはりリヤのトーコン・サスのアライメント調整にあった。走り込みながらセッティングを煮詰めたので自信がある」とのことだ。  
決してサーキット専用じゃなく、ストリート仕様ということも強調する。  
ブレーキにはHKSのメタルパッドを付けていて、サーキットでもまったくフエードしない。

これまでは最高速やゼロヨンなど、パワー指向だったトリアルの大変身ぶりだ。時代にいち早く対応するマッキーのセンスには恐れ入るぜ。  
このT-サーキットの会員権を利用して、これから次つぎに新しいサス・キットが誕生してくるはずだから、トリアルの足作りが楽しみだ。

シーケンシャル・ターボの13B-REW型はまだスピードリミッターを外してマフラー・チューンだけの264PS(ノーマルは実測235PSだった)。ターボのブースト圧はいじっていない。だからノーマルのレスポンスの良さがまだまだサーキットに生かされているのだ。  
このサスキット、ホントにサーキット走行もできるストリート・サスとして出来がいい。



最近太り気味のD&Iとマッキーだが、マッキーの三段蹴りは相当サーキットで汗を絞り出さないと引込まないぞ。



## (サーキット遊びアラカルト)

ダートで火を吹くFDなり。



スピンはコース上で止めること。



砂利で亀になったら時間のムダ。

